

<研究名称>

腹膜透析患者への震災時における対応
～マニュアル作成とシミュレーションによるスタッフ指導の取り組み～

<実施責任者>

看護部 片岡 愛音

<研究期間>

倫理審査委員会承認後（2019年9月～2020年1月）

<研究の目的・意義>

2018年9月6日北海道胆振東部地震が発生し当院でも影響を受けた。PD患者からPDトラブルに関しての電話が相次ぎ、対応に追われる状況があった。病棟ではPDトラブル時の対応マニュアルがなく、看護師の経験年数によっても対応の仕方にばらつきが生じると考えた。震災時の電話対応の仕方についてマニュアルを作成し統一することで緊急時の対応がよりスムーズになり、看護師の医師向上へつながると考える。

マニュアル作成や震災を想定したシミュレーションを実施することでPDトラブルへの対応方法を明確にして実践力向上に繋げる。

<実施内容（方法）等>

透析室看護師13名と対象にアンケート調査を実施。実施後、結果をもとにPD患者の震災時電話対応マニュアルを作成。マニュアルを用いて震災時を想定したシミュレーションを実施し同様のアンケート調査を実施する。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 3階みなみ病棟 看護師長 石原 満喜子

実施担当者 3階みなみ病棟 看護師 片岡 愛音、江蔵 真綾、高瀬 佳奈子、
村中 義人

3階みなみ病棟看護師スタッフ、腹膜透析外来看護師スタッフ

<倫理上問題になると考えられる事項、及びその他特記すべき事項>

- ①対象者が研究について概要を知り、協力する内容を理解するために研究の趣旨と目的・方法について十分な説明を行う。
- ②研究の参加については強要せず、自由意志による参加であることを保証する。また、対象者に不利益が生じないことを保証する。いつでも研究の参加を撤回できる。
- ③情報管理は厳密に行い、個人情報を保護する。また、研究期間終了後は得た情報は削除・消去を行う
- ④研究において得られたデータは、研究以外の目的で使用しないことを保証する。
- ⑤結果は、学会等で公表する可能性がある。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 看護部 片岡 愛音

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648